

平成30年度 行政事業レビュー行動計画

平成30年4月

外務省

1 行政事業レビューの実施体制

行政事業レビュー推進チーム（以下「チーム」という。）を設置し、行政事業レビューの責任ある実施に取り組む。その際、外部有識者を指名し、外部の視点を活用する。

具体的な体制は以下のとおり。

(1) 行政事業レビュー推進チーム

ア 統括責任者： 官房長

イ 副統括責任者： 会計課長， 総務課長

ウ メンバー： 人事課長， 在外公館課長， 考査・政策評価官，
監察査察室長， 必要に応じて各部局右翼課長が参画

(2) 外部有識者：

青山 伸一 青山公認会計士事務所 公認会計士

中谷 和弘 東京大学大学院法学政治学研究科 教授

三笥 裕 長島・大野・常松法律事務所 弁護士

宮本 和之 宮本公認会計士事務所 公認会計士

2 行政事業レビューの実施にあたっての基本的考え方

(1) 基本方針

行政事業レビューを実施することにより、所掌する事業のより効率的かつ効果的な実施並びに国の行政に関する国民への説明責任及び透明性の確保を図り、もって国民に信頼される質の高い行政を実現する。

また、行政事業レビューを通じて、EBPM（証拠に基づく政策立案）を推進する。

(2) 事業の点検に係る具体的プロセス

ア レビューシートの作成，自己点検

事業所管部局は、事業単位ごとにレビューシートを作成する。その際、予算の支出先、使途、活動実績等を踏まえ、事業の厳しい点検を行い、その結果をレビューシートにわかりやすく記載する。

イ 外部有識者による点検

チームは、行政改革推進会議事務局が定める基準にしたがって選定した事業について、外部有識者に点検を求める。その際、外部有識者が適切な点検を行えるよう十分な情報を提供する。

ウ 公開プロセス

外部有識者による点検の対象事業のうち、一部の事業については、外部有識者による公開の場での点検（公開プロセス）の対象とする。公開プロセスにおける点検・議論は、無駄の削減の観点だけでなく、より効果の高い事業に見直すとの観点から熟議型により行う。

エ 行政事業レビュー推進チームによる点検、概算要求への反映

チームは、外部有識者による点検の結果を踏まえた事業の厳しい点検（サマールビュー）を実施する。チームの所見は、翌年度予算の概算要求や予算執行等に的確に反映する。

オ 点検結果の最終公表

チームの所見と所見を踏まえた事業の改善点、翌年度予算概算要求における要求額等を記入したレビューシートを公表する。また、チームの所見の各事業への反映状況や反映額の総額等を取りまとめ、公表する。事業所管部局による自主的な事業改善の取組のうち、優れた取組については優良事業改善事例として公表する。

カ 行政改革推進会議による検証結果を踏まえた指導

チームは、行政改革推進会議による秋の年次公開検証（「秋のレビュー」）における指摘事項が、以後の予算等に適切に反映されるよう指導する。

キ 職員の資質向上

チームは、職員に対する行政事業レビューに関する研修を実施して、レビューの自己点検の実効性の向上を図る。

(3) 基金の点検に係る具体的プロセス

ア 基金シートの作成, 自己点検

チームは、国からの資金交付により造成された基金の適切な管理を確保するため、「基金シート」の作成対象となる基金及び基金事業を正確に把握し、基金所管部局を指導して、「基金シート」の適切な作成及び自己点検を行う。

イ 「基金シート」及び「公益法人等に造成された基金の執行状況一覧表」の適切な作成・公表

チームは、基金所管部局を指導し、「基金シート」及び「公益法人等に造成された基金の執行状況一覧表」をとりまとめ、公表する。

(4) 政策評価との連携

行政事業レビューは政策評価と連携して取り組むことにより、効果的・効率的な点検を実施するものとする。

3 今後のスケジュール

4月中旬まで	平成30年度行政事業レビュー行動計画の策定
4月中旬～5月中旬	行政事業レビューシートの作成, 事業所管部局による自己点検
6月中旬	公開プロセスの実施
6月～7月	外部有識者による点検
6月末～7月上旬	レビューシートの中間公表
7月末	基金シートの中間公表
8月	行政事業レビュー推進チームによる点検, 概算要求への反映
8月末	概算要求, 行政事業レビューシート最終版の公表
9月末	基金シート及び公益法人等に造成された基金の執行状況一覧表の最終版の公表

(了)